

## 鶴岡警察署の沿革

- 明治10年 2月 鶴岡市馬場町に鶴岡警察署を置く。三瀬等5箇所に分署を配置。
- 明治17年11月 鶴岡市馬場町にルネッサンス様式三階建ての鶴岡警察署庁舎が完成。
- ※ 同庁舎は現在「致道博物館」に移設展示されています。
- 昭和28年 県重要文化財に指定
- 平成21年 国重要文化財に指定
- 昭和23年 3月 警察制度の改正により、国警鶴岡警察署、自警鶴岡・大山・加茂・温海の警察署に分割。
- 昭和29年 7月 山形県警察に組織が一本化され、鶴岡警察署と温海警察署になる。
- 昭和31年10月 庁舎の老朽化、県重要文化財指定を機に鶴岡市馬場町(現、鶴岡地区医師会館)に移転新築。
- 昭和57年12月 鶴岡市馬場町から現在地(鶴岡市道形町)に移転新築。
- 平成18年 4月 温海警察署を廃止し、鶴岡警察署に統合。温海警察署は、鶴岡警察署温海交番となる。